

四国学院大学 香川西高等学校 ～日々善進へ バレーボール新聞

発行日：2022.12.19

12月号



全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会四国ブロック予選

今回の私学大会は、高知中央に0-2という結果で負けてしましました。1セット目は取られながら取り返すという粘りあるプレーが多かっておりながら2セット目になると相手に差手外してしまい課題が大玉く見つかるゲームとなりました。2月の県新人戦に向けて、体カトレーニングや基礎練習に取り組み、新たなチーム作りを頑張って行きたいと思ひます。応援よろしくお願ひします。

2年：正井 結梨

私学大会を終えて私は(つ大玉なことを学びました。今後、更にチームを強化させていくため、また相手と戦っていくために一番大切な二点は「ロッカー」と改めて分かりました。今後はため、延期となりました。今回の競技はドッヂボール自身の身長を今まで以上にいかして、プロlevelです。

2年：西嶋 桃音虹

今回の私学大会では、自分たちの思うようなプレーが出来ずに、悔しい負けとなってしまった。まだまだ足りない部分がたくさん見えた試合でした。この負けを、2月の県新人戦で取り戻し、勝つためのチームを作りあげていきたと思います。

2年：馬本 葉

新チームとな、て初めての公式戦は高知中央に負けてしましました。初めの5点を連続で相手に得点を取られてしまい流れを持ってしまいました。今回の試合で出た課題を改善して、新人戦では優勝を目指してがんばります。

(年：佐藤 莓萌莉

『当たり前のことを、当たり前にする』ということがなされかじの隙が出来てしま、たと思います。もう一度、考え方を見直し、一つ一つの道具やサポートしてもらえている環境に感謝し、バレーボールを取り組んでいきたいです。

(年：石川 実生

自分自身は、ヨリ言つて何もできませんがし

た。自分たちのいいところを出すことも、課題を見つけることもできませんでした。二のようないい試合は二度としたくないと思いました。新人戦までの練習を内容のある練習にしていきたいです。

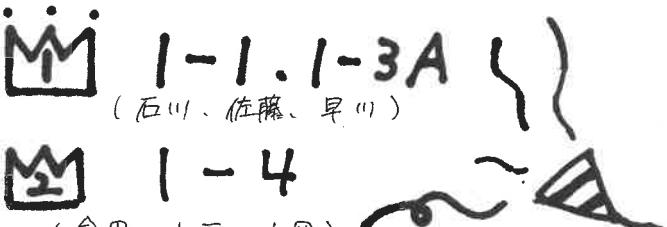
(年：中西 鹿江葉

夏の私学大会では新型コロナウイルス感染症の影響でコートに立ちなくてすむ悔しい思いをしました。今回の私学大会で、コートに立ち、たくさんの課題を見つけることが出来ました。次の県新人戦では、同じミスをしないように頑張ります。

(年：早川 杏

クラスマッチ

(2月5日、1年生の2クラスマッチが行われました。6日、7日には、2、3年生のクラスマッチも行われる予定でしたが、インフルエンザが流行したことは「ロッカー」と改めて分かりました。今後はため、延期となりました。今回の競技はドッヂボーリングを磨いていきたいです。



(石川、佐藤、早川)

1-4

(今田、中西、山岡)

クラス全員が協力して、楽しく明るく競技することができました。(点を取つたら全員が喜べました。あと少しで1年生が終わるのに純が深められてよかったです)。

(年：石川 実生

バレーボールのお知らせ

1月23日(月)19:00~

・対象者：(小学生、中学生)

・持ち物：(シューズ、タオル、水筒)

たくさんの参加をお待ちしております!!

読みました。ありがとうございました。

発行責任元：四国学院大学香川西高等学校